

水田たより 10月号

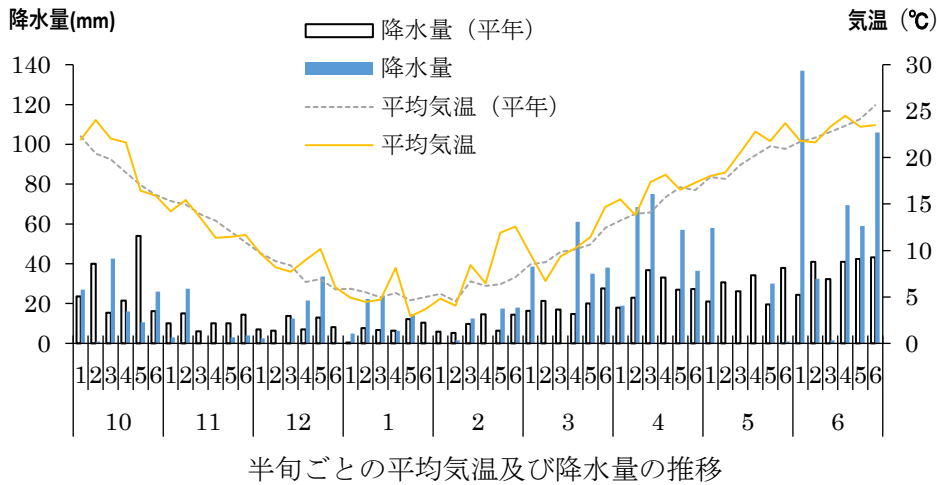
令和8年10月2日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

麦

令和8年産の振り返り



管内の小麦平均単収 (kg/10a)

品種	R8年産	R7年産
さとのそら	430	401
あやひかり	273	283
全体	325	326

管内全体の単収は R7 年産並みになりました。

- ・ 気温は概ね平年並みから高めに推移しました。
- ・ 播種期間の天候に恵まれ、初期生育は良好でした。また、3月以降の天候にも恵まれ、開花期は昨年より5日早くなりました。
- ・ 開花期頃に降雨が多く、湿害を受けたり、赤かび病の適期防除に苦労しましたが、管内では基準値を超過した生産者はいませんでした。
- ・ くず麦は少なく、精麦が多く、両品種全体で昨年並みの高収量となりました。

麦

令和9年産に向けての排水対策

麦類は湿害に弱い作物です。特に出芽から生育初期は湿害による影響を強く受けます。9月は雨の日が多く、水稻の収穫作業も遅れ気味の状況ですが、ほ場条件が整い次第、早めに排水対策を行って、しっかりとほ場を乾かしましょう。

<良い例>

○排水対策のポイント

- ・ 水稻跡の場合はなるべく早く額縁明渠を掘る。
- ・ ほ場の均平をとる。
- ・ 額縁明渠を十分な深さに掘る (20~30cm)。
- ・ 額縁明渠の底よりも深い位置に排水口を設置する。
- ・ 額縁明渠と排水口をつなげる。
- ・ 額縁明渠と合わせて中明渠も掘る。



排水口と明渠がつながっている



明渠の角がつながっている

大豆

吸実性カメムシ類に引き続き注意を！

今年の吸実性カメムシ類は平年よりそれぞれ「多い」と予想されています (三重県病害虫防除所 8/25 付け令和8年度病害虫発生予報第5号)。吸実性カメムシ類の2回目の防除適期は開花40日後(子実肥大期)です。

【2回目の防除適期】7月中旬播種→10月上旬

7月下旬播種→10月中旬

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページでご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索